

どなたでも自由にとって下さい。



2015年春・41号

信条・世に媚びず・粋にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行 〒583-0018

大阪府藤井寺市西古室 2-8-13
TEL・FAX 072-954-3312 吉田 進
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>
E-mail : info@kawaraban.ne.jp



南の国インドネシア・バリ島は、日本人旅行者の人気スポット。行く先々で、色とりどりの果物を頭上にした子どもたちに囲まれる。果実色にはじけた「買って」の掛け声に、つい誘われてしまう。

CONTENTS

安倍政権を問う ビックリニュースつまみぐい… 2
不平等・格差拡大の資本主義

ピケティ氏来日講演 …… 4

危ない農村社会の現実 …… 5

頼みますよ 岡田民主党 …… 6

被災地に桜咲いたか笑ったか …… 6

時が止まったままの福島原発周辺を見た衝撃… 7

岩名雅記のCmジャーニー⑱

「目的を持たないからだ」について …… 8

日々の暮らしの中で 視覚障がい者が感じること … 9

上海在住日本人見聞録③

我流上海タクシーの乗り方 …… 10

歴史人物私談⑤ 徳川家康 …… 11

世界の国と街を訪ねて⑮ タージマハール …… 12

家庭でできる健康アジアメニュー②

ヤムウンセン(タイ風春雨の和え物)… オーシロカズミ …… 13

私が愛した街⑬ ラ・アバーナの春(クーバ) …… 14

介護 …… 15

中田恭子さんへの手紙 …… 15

恭子の日記② …… 16

安倍政治を問う

ビツクニュース つまみ食い

内外のビッグニュースが瞬時に飛び交い、地球はグ〜ンと狭くなった。「激動の時代」という枕詞は死語となり、次々に発生する大事件に人々は感性が麻痺し、「驚かず」「忘れやすく」なった。それが怖い。私たちは「時の流れに身をまかせ」ではなく立ち止まり、一つ一つの出来事を心の目で確かめ、考えなければと思う。さて3本の矢はどんな矢なのだろうか。



安倍首相施政方針演説の一部を紹介してみよう。

■戦後以来の大改革

——「日本を取り戻す」そのためには、「この道しかない」こう訴え続け、全力で走り続けてきた。先般の総選挙の結果、「安定した政治の下で、この道を、さらに力強く、前進せよ」、これが総選挙での民意。

■経済再生と社会保障政策

全力で射込んできた「3本の矢」の経済政策は、確実に成果をあげた。中小企業の倒産件数は24年ぶりに低水準となり、雇用は改善。賃上げは15年間で最高。新規の国債発行額は6年ぶりに40兆円を下回った。▽社会保障の充実

低所得高齢者世帯へ介護保険料を軽減。介護職員へ月額1万2000円相当額の処遇改善を行なう。▽女性が輝く社会 地方創生 積極的平和主義 東日本大震災からの復興——と続く。

彼は、この演説で計36回の「改革」を唱え、「変化こそ唯一の永遠」(岡倉天心)、「知と行は二つにして一つ」(吉田松陰)、「日本国民は自信を持って」(吉田茂)の言葉を引用したが、国民の生活実態と反応はどうか。

「3本の矢」は庶民を射た

アベノミクスは、確かに円安、株高、物価高をもたらした。一部は高笑い、多くは泣くという貧富の格差拡大をもたらした。雇用が増えたのは非正規労働者だけ。賃上げは一部の企業だけで、それも消費税の増税や物価高で、可処分所得は18ヵ月マイナス。ましてや、輸入企業や中小企業、賃上げもままならない全雇用労働者の4割弱を占める非正規・パート労働者2000万人の生活は、増税、物価高で火の車である。日本は今、先進国で貧富の

差が最も大きい国の1つで、「相対的貧困率」(全国民の年収総体の半分以下の割合)は16・1%で、生活保護者は200万人以上。人は「等しからずを憂う」で、貧富の格差が社会の歪みを生んでいる。それに追打ちをかけるのが、高齢者医療費の窓口負担が1割から2割への引上げ。年金額から過去物価下落分(0・7%)の引下げ。年金を賃金や物価の伸びより抑えるマクロスライド制(15年度は0・9%)の導入。そして「労働者派遣法」の改悪、成果主義賃金の検討等々と続く。

その時、世界に「ピケティ現象」が吹き、ピケティが日本に上陸した。「株や不動産、債権などの投資による資本収益率(r)は、経済成長率(g)を常に上回り、労働分配率は減る。よって貧富の差は拡大する」というもの(4頁参照)。彼は1月31日、東京記者クラブで「税制は、富を持たない若者や女性に有利な制度にしないと、人口減で活力を失う。消費税は平等というが、賛成できない。税は累進性を高め、金持ちから多く税を取るべきだ」と述べた。

アベノミクスは、「富めるものが富めば、富はしたたり落ちる」というトリクルダウン理論による。安倍首相は、それらを意識し、総花的にこの方針演説をしたのである。加えて、彼がいう「この道」とは、「いつか来た道、戦争の道」、「秘密保護法」や集団的自衛権の閣議決定など暴走の道。また地方自治の民主主義を破壊する強引な沖縄辺野古への基地建設等々は、絶対許せない。彼は昨年総選挙の民意は、「この道をさらに力強く、前進せよ」だというが、とんでもない。

自民党は、小選挙区制のマジック(自民党の得票は48%だったが、議席占有率は76%)で過半数を得ただけで、「国民の民意を得た」とは勘違いもいとところだ。傲慢不遜。「驕るアベは久しからず」である。

アベノミクスはアベノミス

「いつまで続くぬかるみぞ」。閣僚の不正な献金が後を絶たない。叩けば埃で、西川農相(辞任)、下村文科相、望月環境相、上川法相、甘利経済再生相、林農相、そ



して安倍首相、菅官房長官と続々。献金ウィルスは今、国会に広がっている。彼らは共に、「知らなかった」で、政治資金規正法の罪にはならないというが、「開いた口が塞がらん」とはこのこと。「知らん」「カネを返した」ですむなら、この世の犯罪は全て白だ。第一、西川農相の「いくら説明しても、分からん人は分からん」には啞然。国民は「それが分からん」のだ。2月19日の国会質疑で民主党委員が西川の不正を質したところ、安倍首相は「日教組は

どうするか」とヤジを飛ばした。だがそれが誤りと分かり、謝罪した。どうも安倍ヤジ將軍もそろそろ賞味期限がきたようだ。そこでガンジーの「7つの社会的大罪」を――。

①原則なき政治②道徳なき商業③労働なき富④人格なき教育⑤人間性なき科学⑥良心なき快楽⑦犠牲なき信仰。それらの議員は、もって手本にすべし。

**春闘はアベの一言あればいい
大労組は企業守る防衛隊？**

連合に結集する大手労組は、アベの号令でなく自力で賃上げを闘いとももらいたい。同時に自企業内の非正規労働者への賃上げ、正規雇用化にも力を入れてほしい。大手労組は、ややもすれば「労働者の連帯」を忘れ、企業の公害、薬害に対しても企業の防衛隊と化し、さらに原発の再稼働や沖縄の軍事基地に対しても「一切言わない」「動かない」では労働運動の明日はない。「連合は票が勝負の圧力団体」と、世間の心ある人からヤユされていることを

しつかり胸に刻んでほしい。今の安倍政権は「地方創生」を目玉にしているが、内実は、福島原発事故の被災者救済は進まず、原発の汚染水漏れ、核のごみ処理は未解決のまま原発再稼働を進めるという現状で、口先政治だ。多くがアベ自民党政治にNOだが、なぜ自民党が選挙で勝ったのか。昨年末の総選挙で人々は「信頼する野党がなかった。止むなく自民党へ入れた」という。そこに答がある。野党は、しつかりしてもらいたい。

沖縄県民の民意を無視する 辺野古基地建設に断固反対

昨年11月の沖縄知事選で、基地建設反対を訴えた翁長雄志さんが、基地推進で3選をめざす現職の仲井真弘多知事を10万票の大差で破り当選した。また年末の総選挙では、推進派の自民党4候補は選挙区で全滅し、反対派が全員当選した。民意は示された。

仲井真氏は「沖縄振興策を毎年3000億円の予算で確保する」という政府のアメ

を舐め、辺野古基地を承認。県民の怒りを買った。以来、政府は辺野古への建設に着手。翁長知事との面会を拒否するばかりか、約束の振興予算も削るといふ子どもじみた「仇討ち」を行なう一方で、反対派を強権的に排除しながら着々と工事を進めている。辺野古の米軍キャンプシユワブ前で、移設に抗議していた沖縄平和運動センター

の山城博治さんら2人は2月22日の朝、同基地に侵入したと米軍に拘束され県警に逮捕された。それは故意ではなく「基地の警備員が山城さんの背を押した」という報道もある。

基地建設で、県の許可区域外に沈めた大型ブロック（1つ10〜40ト）によるサンゴ礁破壊が見つかった。翁長知事は、「前知事が出した許可条件に違反している疑いがある」として「岩破碎許可の取消しを含め検討する」と発言。それに対し、政府は

「肅々と工事を進める」という。一方、米議会には、普天間の代替地に、辺野古は非現実的という議員は少なくない。とにかく、アメを拒否し、ムチに抗する沖縄県民に心から敬意を表し、私たちは連帯したい。国土の0.6%に満たない沖縄に米軍基地の74%が集中しているのを放置し、その上さらに美しいサンゴの海を埋め立て、そこへ米軍の飛行基地をつくるというのか。一体、安倍さんはこの首相なのか。民主主義とは何かを知っているのだろうか。

沖縄選出の赤嶺議員は3月3日の予算委員会で、「山城さんは、ゲート前抗議集会の参加者へ基地内に入らないよう呼びかけていた。すると、基地警備員らが山城さんの手足を持って引きずり、それを助けようとした人を羽交いじめして手錠をかけた（写真）」と、安倍首相と上川法相へ返答を迫った。だが、まともな答弁はなかった。



不平等・格差拡大の資本主義

「21世紀の資本」著者ピケティ氏来日講演

東京 江東区 三田 栄考



実質賃金がこの10年近く下り続ける日本。年収200万円以下の貧困者と生活保護世帯が増え続ける一方、役員報酬

で億を取り、とてつもない大金持ち、何億もの契約金のスポーツ選手がいる。いや、世界中で、国家間でも貧富の格

差が拡大し続けているが、それは資本主義の持つ本質である。

一昨年、仏経済学者ピケティが「21世紀の資本」を著し、日米をはじめ世界のベストセラーになっているそうだ。そんな折、著者が1月28日来日、翌日の講演が朝日新聞デジタルでLIVE配信されたのを見た。とはいえ経済学は地味で難しく、私の勤務する会社の幹部等10人に聞いても教授の名前を知っていたのは1人のみ（1人は尋ねた日の朝刊で経済誌の広告文で知ったそうだ）。教授は「自然科学は極く一部の研究者の開発で世界中の人に恩恵を与えられるが、経済学ははじめ社会科学は人類全体で進まない」と社会は進みにくい」と述べている。

講演のテーマは「広がる不平等と日本のあした」「日本社会は経済の不平等にどう取り組むか」で、教授は豊富な統計表を紹介して世界の貧富の拡大を示した。彼はその原因を「19世紀に始まった資本主義の本質であり、大戦後、所得税の導入やインフレなどによって一時格差・拡大は隠

されたが、1980年代から次第に格差が顕著になってきた。それは資本蓄積やその配当が、経済成長による労働の配分よりいつも大きいから貧富が拡大するわけで、格差を縮小するには累進課税や相続税の強化や国際的課税逃れを許さない国際協力が必要」と説く。身振り手振りを交え同時通訳で快活に講演した後、内閣府西村康稔副大臣、上智大学鬼頭宏教授らとパネルディスカッション、会場からの質問に答え、熱のこもった雰囲気のパソコン画面からもうかがえた。

翌日早速、国会では民主党長妻昭議員がピケティ理論を引用し「アベノミクスは株を持つている金持ちを喜ばし、大企業をもうけさせ、逆に物価を上げるし、給料はおこぼれでは格差の拡大だ」と安倍首相を追及していた。教授は民主党幹部とも交歓し、日本経済の現況をどうみるか、どう改革すべきかの意見交換もしている。

ドイツ人カールマルクスが「資本論」を著し資本主義の矛盾が必然的に社会主義を招くと予言し、後進資本主義国

のロシア・中国で革命が行われたが、自由・民主主義などの未成熟もあって、社会主義は敗れた。マルクスは資本主義の根本的問題は克服できるとしたが、人間の持つ私利私欲を配慮しなかったのが社会主義が負けた一因ではないか。

他方、資本主義は個人の欲望が活動力のエネルギーとなつて経済を発展させ、同時にそれは常に行き過ぎて富者を過大に富まし、弱者を虐げる宿命的本質を持っているわけだ。かつては腕力で搾取し、次に資本で絞り上げ、今は知力と科学・情報などを駆使してお上品にもうけ続ける。それは弱者から直接巻き上げないから双方とも罪の意識も恨みも抱かせない巧みな収奪システムだ。教授の説はそのシステムの補修、つぐないだけで根本的な解決ではないのではないか？ 全社会と個人の私利私欲とに調合せられるかは人類の永遠の課題ではないだろうか。

参考文献・週間東洋経済1月31号／みすず書房「21世紀の資本」訳書／(株)金曜日発行「ピケティ入門」竹信三恵子

農業は国の根本 危ない農村社会の現実

新潟 三桑 山井 秀栄



写真は豪州視察時の筆者（中央）

日本と豪州米の価格差6.5倍

研修先のリートン市（シドニーから西へ550キロ）はオーストラリアのコメ生産量の90%相当の80万トがここで生産されています。平均耕作面積220鈔を1〜2人で耕作していることに驚嘆しました。日本の水稲作付け面積は平均1〜1.5鈔で、その差は150〜220倍規模となります。

オーストラリアは気候、地形、土壌などの自然条件が厳しく、これ以上の稲作の規模拡大は難しい状況です。従って、稲作は水不足のため灌漑用水によるもので通年十分な水量が得られず、3年に1回の作付けで放牧、麦など輪作体系がとられています。耕作は大型トラクターにセンサーをつけて高低差6センチ以内に数十キロ先までも均平に整地していきます。水の入っている状態にして飛行機で播種します。

当時の価格差は6.5倍あります。稲作には政府から一切補助金が出ていないとのこと。したがって、TPPへの参加は戦艦に竹やりで勝

負に臨むようなものです。

結論ありきの規制改革答申

安倍政権が推し進める環太平洋連携協定（TPP）に対し、全国農業協同組合（JA全中）が反対運動の前面に立ったことで農協改革が台頭したことは明らかです。農協改革論議の発端は、経済人が中心メンバーの政府の規制改革会議であって、決して農家や農業生産現場ではなかった。「土の匂いのしない改革」とされるゆえんだらう。

なぜ農政問題が二転三転して今日に至ったかの一因は、「自民党にも民主党にも優秀な人は多いが、データを集め、有力者や識者の話を聞くことに時間を割いても大衆の生活実感の変化を体で受け止められない」（元衆議院議員 関山信之氏談）との言葉に納得した気がします。

採算割れの日本の稲作

平成25年産米の新潟コシヒカリの仮渡価格は12000円/60kgで平成2年産米と△2.2倍の差があり、わが家の減反面積は実に41.2%に及んでいます。私の試算では損

益分岐点18500円/60kgを6500円下回っています。

44年続いた減反政策も4年後減反が廃止されるのが決まり、生産調整の補助金も2年後に全廃する。まさに四面楚歌の中、山間地農業は米価のさらなる低下でむらの生活は荒廃し、消滅することは明らかです。すでに農業従事者の年齢は65歳以上が7割を超えて4年先の農業の展望をまったく描くことができないのが現状です。

さらに政府は岩盤規制打破と言って農協改革の断行は「地方創生」に背くのは自明の理であり、無神経な国の怠慢で農政のツケを「農家の責任へと転化」していることには許すことができません。

県外のがが友より「貴殿のような素晴らしい本物のお米を作れる人、本物の美味しいフルーツ、野菜を作る人が増えています。農業は国の根本です。貴殿はいま地方再生の最先端におられるといっても過言ではないでしょう。」との便りをもたらしたが、現実とのギャップがありすぎて、返答に苦慮しています。

頼んますよ 岡田克也民主党

東京 上野 成村 一智



リベラル色を鮮明にした3位の長妻昭(54)支持グループが、決戦投票で中道の岡田克也(61)支持に回ったために逆転勝利となった。

3人の主張は以下のとおりだった(民主党選挙公報から)。

・細野氏⇨過去と決別し新しい民主党を創る、歴史修正主義を克服し現実的平和主義、勝ち組からのおこぼれによる繁栄でなく弱者向けに経済と社会保障の底上げ。

・長妻氏⇨原発再稼働しない、平和主義を守る、集団自衛権は認めない、日本がきな臭い方向に進んでいる、日本の格差は限界。
・岡田氏⇨2030年代原発ゼロ、集団自衛権の閣議決定撤回、公正な社会。

自民との対立軸鮮明に

さて岡田氏は真面目すぎる程の堅物で、しゃべりかたに迫力がない——私の岡田新党首に対するイメージはそんな感じだった。

しかし政治は妥協の産物、だから政党選びも妥協して私は民主党に期待する。自民党との対決軸を確立することが民主への支持率回復、政権再奪取の道だとも思う。自民と同じ政策、路線なら野党の意味がない。だから消費税、TPP等は黙っておくとしても脱原発や自衛権などは、党内で議論を充分深め異論が出ない状態にして追求することだ。党をうまくまとめてくれるだろうとの期待が岡田氏を党首にさせたのだろう。

自民党の右傾化を阻止するには民主党が政権をうかがえるまでの勢力にならなければ進まない。衆議員100人にも満たない民主党なら、安倍首相は4年間それいけドンドンと何でもやれてしまう。現在の勢力では尋常に攻めても軽く押しつぶされてしまう。問題は大半の国民は憲法や外交、歴史認識では動かないことだ。経済・生活第一で人気を取れば、余程のことがな

い限り国民は引きずり降ろさないのだから、安倍首相はアベノミクスなる政策を考案した。日本財政と金融をジャブジャブに見せかけの景気造ろうとしている。

国家財政の明日は

いずれ世界最大の債務国日本の財政は破綻する。今から財政破綻時の対策を幾つも研究しておくこと。「財政破綻」「インフレ」「国債超過」「子孫に借金を押し付けるな」「小さい政府」の対策で攻め、予算の大幅縮小策を大きな声でぶつけることだ。

次の総選挙で野放図政策か健全財政かを争うことが重要だ。今年からこの対決軸で国会論争を仕掛け4年後に決着させるのはどうだろうか？

国債に頼り、金利負担が毎年毎月毎日増える一方なので財政はいずれ破綻するに違いない、外国では日本の破綻をもう視野に入れてる。

この問題を本気で解決しようとする姿勢を、民主党の手で前回の失敗を生かして解決の意欲を打ち出せしてはどうだろう。

被災地に桜咲いたか笑ったか

3・11東日本大震災から3年、避難生活者は23万人(うち福島県は12万人)、震災関連死者は3194人、同昨年自殺者は22人(うち福島県15人)。福島第1原発事故の汚染水は止まらない。「今も原発という戦車は/放射能という弾をうち/人々の心をうちぬく」(詩の寺子屋)の子どもたちの詩)▼ドイツのメルケル首相が来日した。同首相は、「福島原発事故で脱原発政策に転換した」と、講演。

一方、安倍首相は、「国民に低廉で安定したエネルギーが必要」と重ねて原発再稼働にふれた。「改革」を連呼する彼は遅れている。日本は唯一の被爆国なのに。小泉元首相は、「原発は一番コストがかかる」「原発ゼロに舵を切れば、自然エネルギーで経済成長できる」と述べた。▼メルケル首相は、中・韓国と不仲な日本に対し、「過去に目を閉ざす者は現在も見えなくなる」(ワイツェッカー)の言葉を置土産に帰国したが、「あ、この幼い日本の首相よ」だ。

民主党の臨時党大会で決戦投票の末、新代表が選ばれた。維新との連携をも模索する若手代表の細野豪志(43)が党員、自治体議員による1回目投票では僅差で1位だった。



JR富岡駅・右手線路は雑草に埋まる



廃屋となった駅前の民家裏庭

時が完全にとまったままの 福島原発周辺を見た衝撃

高槻市 市
三上 弘志

死者	1万5891人
岩手	4673人
宮城	9539人
福島	1612人
避難者	22万8863人
仮設住宅入居者数	8万2985人

東北震災後1年目に、辻元清美事務所のある遠野まごころネットの活動に参加、その2年後に出身大学のボランティアバスで仮設住宅訪問もしてきました。例年晩秋に従姉夫妻と一緒に旅行をしているのですが、今回は観光で行くだけでも東北の支援になるのではと思います、福島・山形へ出かけてきました。

福島空港でレンタカーを借り山形空港までの2泊3日

行方不明者	2584人
岩手	1129人
宮城	1249人
福島	202人
関連死	3194人

の旅でした。最初に、福島で唯一の国宝・白水阿弥陀堂を訪ねました。太平洋側に位置している、北上すればくだんの福島第一原発に進めませんが、少し遠回りになります。その方向へ車を進めました。国道6号線が開通して半月程の頃でした。前にこの地域を訪れた友人のフェイスブックで知ったJR富岡駅を目指しました。

そこで目にした光景に私達4人は凄まじい衝撃を受けま

した。その地域だけ、時が止まっているのです。私達は大阪在住で、阪神淡路大震災の被災地への支援ボランティアにも行きました。震災直後に神戸で見た光景と全く同じなのです。ただ、神戸ではそういう光景はスピードに速い遅いはあっても、復興の地域格差の問題はあっても、とにかく大きく変化して行きました。ところが、富岡では、3年以上経っているのに、光景に変化が無いのです。崩れかけた家屋、ひっくり返っている車、変わっているのは雑草が伸び放題になっていることくらいです。被災時そのまんなまなので、息をのみ、涙が溢れそうになりました。近くで除染作業がされていました。全く無防備な服装だったのにも驚きました。

その衝撃を抱えて、開通したばかりの6号線を北上したのですが、路線には「原付、軽車両、歩行者は通行できません」という掲示が続きません。宿は裏磐梯で予約していたので東に向かいたいのですが、その道は閉鎖されていて「帰還困



誰が建てたのか南相馬市の海岸にポツンと立つ卒塔婆とお供えもの

難」地域になっているのです。こんな中で、原発再稼働や原発輸出にまで邁進する安倍内閣はホントに現実を見ていないのかと憤りを覚えざるを得ませんでした。私の選挙区では「今の内解散」で勝ち抜いた辻元清美が昨春にも原発内部に足を踏み入れ、その問題を地域の語ろう会で報告している、危険な状況を知ることができません。その後就任した宮沢経産大臣が一度も東北の被災地に足を踏み入れていなかったことや、川内原発を「かわうち」と読むのと明らかに対照的です。

こういう経緯を一人でも多くの市民が知っていれば、原発推進の安倍内閣の本性を見抜き、アベノミクスで景気が良くなる等という甘い見通しに惑わされないだろうと痛感した次第です。

時間を遡行できないならばせめてこの脚で /

岩名雅記の Cm ジャニー 18

『目的を持たないからだ』について

いわな まさき / 舞踏家、映画監督（フランス／南ノルマンディ在住）



岩名さんのスタジオ窓から見える冬景色



冬の舞踏合宿（朝のミーティング風景）

我が家・南ノルマンディでの冬の舞踏合宿もあと一日を残すところまできた。皆さんの踊りも輪郭がはっきりしてきて僕も随分とコメントがし易くなった。

今日は香港から来た彼女が面白かったな。満足にプリエ（注・膝を曲げる技法）も出来ない硬いからだの人だけれど初めて彼女がチャーミングに見えた。座って投げ出した両脚の片方を軽く折ってただ前方を眺めているだけ。虚ろな眼はいつしか僕らが言う「風景」をうつすらと吐いていく。やがて身を乗り出して何かを求めているかのようだけれど、確かに何かを欲して

いるというわけでもない。薄いからだ、薄い欲望、薄いまなざし、ただそこに身を置くだけで気がつけば15分が経過していた。

（逆説的だけれど）彼女の踊りから曖昧な時間がはつきりと見て取れた。その成功は過剰なことをしなかったというただその一点だけ。『踊る欲望』はいつもその人が持つ『からだの条件』と天秤にかけられる。身体的な訓練が出来ていない人が過剰な欲望を持てば、たちまちからだを破綻してしまふ。「せぬが良き」ということだ。

でもこの「せぬが良き」は一筋縄では行かない。しなくても何かが見えるということ（蓄積されている）ものがあるという証左でもある。彼女の場合は「何かがある」とまでは言いきれない身体の「未熟さ」があるけれど今日は上手く行ったということかな。

彼女の踊りの成果を参加者の皆さんに伝える為に舞踏の先達が言い残した「目的を持たないからだ」について話してみた。この世は目的とそ

れを達成する為の方便で満ち満ちている。その為からだと心が如何にぐしゃぐしゃに切り裂かれ、摩滅している事か。けれどそうではない時間をからだは必ず育んでいる筈なのだ。そこではからだはまるで芳香のように大気のなかを無目的／無方向に動いているのだ。

僕が考えている踊りも無目的／無方向という意味ではほぼそうした傾向を持っているけれど、僕の性格は何かやらないでは済まないみたいなの「かたくな」なところがあるので彼女の様な淡い踊りは出来ない。そこで自分の舞踏論集のタイトルにした「虚無の強度」ということになり。何の意味も価値もないことをギリギリまでやってみるということだ。

「目的を持たないからだ」と似た概念で「役に立たないからだ」というものもある。これも僕にとってはひどく魅力的である。世の中、役に立つことばかりが尊重されるけれど役に立たないってホントに魅惑的なことだ。役に立たないヤツとか、役に立たない発

明とか、それだけでその人の人生も他の人の人生も楽になる筈だ。

そう、舞踏の先達は確かこうも言っていたな『有名になるなんて下品なことはお止しなさい』と。「役に立たない」ということと、「有名にならない」ということはそのままイコールとは言えないけれど意外にも多に関係がある。「有名になる」人の多くは何処かで人生の成果のようなことを考えていて、その成功の為に無駄な事、役に立たないことを削ぎ落としてしまう傾向がある。「目的を持たないからだ」や「役に立たないからだ」を過ごせる人は富、権力、榮譽を志向する人とまさに対極にあつて人生の豊饒を楽しんでいる。



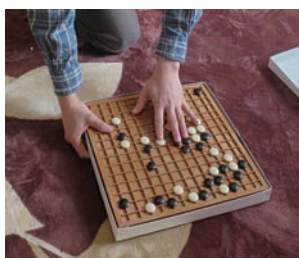
筆者

岩名雅記の長編劇映画「シャルロット／すさび」の撮影が本年7～10月、7週間にわたって日仏で開始されます。以下フェースブックの公式サイトを御覧いただき是非ご支援ください。

<https://www.facebook.com/pages/%E3%82%B7%E3%83%A3%E3%83%AB%E3%83%AD%E3%83%83%E3%83%88-%E3%83%BC%E3%81%99%E3%81%95%E3%81%B3%E3%83%BC/347703152088751?pnref=story>

日々の暮らしの中で 視覚障がい者が感じること(上)

社会において人々は自分の弱みや悩みを隠して日々何の問題をも抱えてないかの如く生きている。しかし、知覚障がい者は弱みをもろに出して生きざるを得ない。彼らの生活と意見を知る機会が少ないので本誌はある視覚障がい者にインタビューし、本人の了承を得て2回に分けて掲載します。



囲碁もこのようにポツチリや升目を盛り上げて障がい者でも勝負ができます



パソコンに向かう大川和彦さん(自宅で)

大川和彦さんは生まれながらの視覚障がい者で右のみ視力が0.1であった。彼は障がい者学校(盲学校)に通った。

近年は社会参加の訓練も必要なので、普通の学校に入る場合が多い。その場合は周囲の健全者の理解と協力が要る。成人後に左も完全に失明したが、それを克服しマンションで一人暮らしをしている。大川さんのような「弱視視覚障がい者」は厚生労働省の調べでは約30万人で完全失明はその30%くらいだそうだ。

何が生活しにくいですか？との最初の問いに「移動と情報収集」と言われてナルホドと思った。音で情報が取れない場所や手段は困るそうだ。

白い杖で足元を探りながらの通勤だが、自宅から最寄駅まで健常者と比べ3割ほど時間がかかり10分の道のりになる。初めてのところや駅が基点でなければ、更にかかると青になったら半年前からピョピョとカッコウの高い音と低い音が流れるでしょう。あれは助かる」と言われた。その交差点をよく使う自分は全く気が付かなかったし、今

でもその音響に意識がないのは、さすがに障がいのある人との差を感じた。

音響付き信号でない交差点では車の流れの量によって渡るか否かの判断をするが、周りの人が声をかけてくれたり手を引いたりしてくれることもあるとか。点字ブロックがあれば随分助かるし、事故も減っているそうだ。街を歩くのが怖いという障がい者もいるが、彼は通勤でドキドキすることはないと。交通・移動で大きな危険に会ったことはないが、駅のホームで音もたえずに近づいた電車で白杖で触れたことがあったそうだ。最近ではホームドアが増やされてきたが、これも大助かりだそうだ。それに友人の中には「自転車などの接触」で白杖が折れてしまったことがあるので、彼自身は予備の杖をいつも鞆に入れていっているという。

障がい者も職場参加を

職場は千葉市図書館で、職場でも「パソコンを使用して障がい者用に聞こえる本」を送る仕事をしているそうだ。1時間もかけて千葉に通うの

は不合理(?)とインタビューは勝手に思っていたが、ラッシュと逆だから楽だそう。大川さんは本や資料(主に視覚に障がいのある高齢者)の問い合わせに答える仕事をしている。来館者以外の人に対し録音図書CDとか点字書のあるコーナーの仕事だ。外に出歩かない人には情報が入りにくいから、社会に入りにくいのではないかと

怖がつて引きこもっているは更に情報に接しにくいから、もっと隔離状態になる。だから障がい者は自ら動き、職場開拓すべきだと氏は主張する。「来館が困難な障がい者のために電話で資料のリクエストをして、その資料を郵便で受け取る郵送貸出をする」が、利用者は電話が90%以上。本の資料郵送は第四種郵便物、点字本や音声資料は無料で送れる。宛名は墨字——活字にして、宛名カードを用意しておいてあるそうだ。「職場では、大川君これできないでしょう」と言われる(ようなこともある)のがいやだが、普段の社会生活ではいやな目に会うことはまずないとのことだ。(次号に続く)

上海在住日本人見聞録 (3)

我流！上海タクシリーの乗り方

駐在員の妻

吉松景子

タクシー料金は安く都市によって違うが、上海の初乗り料金は15元前後(約300円)だから地下鉄代わり使ってもそう料金が気にならない(そう思うと、日本のスイス等に並ぶくらい高い)。上海でタクシーに乗ると、相手が中国語ができる日本人だとわかると「議論をふっかけてくるタイプの運転手」がいる。そういう運転手さんに出くわすことが多々あり、どう対応したらいいのか、いつも困っていた。議論の始まりはだいたいこうだ。「君は、今の首相のことをどう思っているのか」「日本は、中国と戦争をしたがっているのではないか?」「どうも返答し難くジャブを打たれ一瞬グラっとする。

とはいえ、何度か同じような質問をされるので、私も自分なりの模範解答を作った。



「今の首相に関しては特に何の感情もないけど、どうやら日本の経済をよくしようとする力してくれている。ただ、まだまだ不景気だから、私達はここ上海で勝機を見出すべく自分自身でがんばる」「日本が中国と戦争をしたいんだつたら、数万人の駐在日本人は今頃とつくに日本に帰っているよ」。しかしながら、2つ目の回答を、あるタクシー運転手さんに投げかけた時、こう返された。「いや、日本の首相は戦争するとなったら、君らを見捨てるよ。だから、早く日本に逃げ帰ったほうがいいよ」。

これこそきつい冗談返しだと思いたいが、いくつかそういうシチュエーションに出会って思ったのは、「中国人は「日本が嫌い」という計算式は、「何が嫌いか」という部分をちゃんと突き詰めないと全く本質が見えないと実感した。少なくとも上海の運転手さんは、「日本が嫌い」なのではなく、「日本の政府を批判している」だけなのだから。彼らの言葉の中には、自国の批判も入り混じりながら

る。もうちょっとデイベート上手にならなければと、ひしひしと感じる。たとえ、下手くそな言葉でも、「自国に対する自分の考えを、自分の言葉で述べる」ことができるようになってこそ、意義のある海外生活を送ることができるとの身に染みた。互いに自国の政府の宣伝やメディアに踊らせてそう信じ込むのは世界共通で、その誤感情が戦争を煽ることになる。

勿論、悪質タクシーにも逢う。そういう嫌な目に合わないためにも私なりの回避方法がある。それは「1人で乗る時は、できるだけ助手席に座る」。それに限る。助手席に座れば、偽札もすり替えにくく、遠回りされそうでもすぐ気づいて、自分でこの道を行ってくれと指示を出しやす。助手席に座って中国語が分るとなると「議論をふっかけてくる運転手」だと相当覚悟がいる。でもそういう運転手さんほど、詐欺もしなければ、上海の道を知っているベテランさんであることも多いのだ。だから上海は楽しい!

徳川家康

近代へ導いた恩人にして
嫌われ者の征夷大將軍

東京 原野 通有

三方ヶ原の敗戦を忘れまいとして描かせたというが、本当だろうか



私は徳川家康がどうも好きになれない。いや大嫌いだ。私の住む東京は家康が造った

街かと思うとお尻がむずむずして逃げ出したくなる。我が子に「康」の字を付ける人の気が知れない——と思ったりする。結果的に地価の高い首都のご真ん中に広大な城跡を皇居に用意したのもお門違いの腹が立つくらいだ。

東京首都圏一人勝ちと言われるほど東京の役割は高い。家康はその江戸を野っばらか

ら当時の世界一の人口の街に、260年の太平の時代を築き、東京に繋げた功績にも関わらず称えられない。その不人気の理由を首をひねって考えてみた。

家康ってどんな人

①地味な性格、面白みがない生き方だったのではないかと。②人間の生涯は重い荷物を背負って歩くように我慢と努力だ」と家康は教えた。真偽は別にして家康らしいが、それではロマンがない。カッコ良くない。③豊臣家を滅ぼしたやり方が難癖と弱い者いじめだ。いつの時代に誰が言い出したか、「たぬき親爺」の代名詞に値するぞろく、うそつき天下取りだった。④死に方、死後も後世人には敬意も哀れみも持たれない死に方で

あり、死んだ後も神君などと言われ可愛げがない。後顧の憂いがなくなったから、大阪の陣の翌年、駿河で死んだが、世人は腹いせに「商人茶屋四郎次郎の献上した鯛の天麩羅に当たって死んだ」ことにした。④徐々にのし上ってきて華々しい活躍・逸話もない。関ヶ原合戦も華々しい戦よりも、権謀術策を弄し裏切りで勝ったイメージが強い。⑤信長秀吉に較べても、二桁の妻妾、十指に余る子供との間に愛憎物語になるような逸話伝承が残る、人間味を感じる関係ではなかったのかな。

⑥自家を守る為とはいえ長男を切腹させ、正妻を殺している、孫の千姫も殺す処だった（豊臣側が脱出を認めたら死なせずに済んだ）。⑦先人二人は茶の湯や花見など文化にも関係したが家康は自分の天下取りの健康の為に自ら薬草を調合するのが趣味程度で、華やかさに欠ける。⑧死後は東照宮に閉じこもっただけ。大田牛一の信長公記や太閤記のように物語にならなかった。滝沢馬琴にでも頼んで家康伝を書いてもらえば良かったのに。⑨家康の肖像画

は晩年の顔のどっかい耳たぶの垂れ下がって目のギョロツとしたものと、三方ヶ原で信玄に負けて逃げ帰った事態の反省にと描かせた「顔に手をあて弱った図」（上図）しか思い出せない。どちらも爺臭い。絵師に若い時代のかっこいいのを描かせておれば。⑩名前がいけない。家康の名前を切断して、豊臣秀頼が呪った京都方広寺の鐘銘を（豊臣攻撃の材料に使ったほど腹立たしいのに）そのまま現代に残しているから、そりゃ呪われて人気が出るはずがないわ。

お鉢が回って立役者

今では家康が東京を拓いた立役者になっているが、信長の次男信雄がその役割を果たしたかも知れなかった。というのはいわゆる北条氏を滅ぼした秀吉は、既に従っていた岐阜城主の織田信雄に関東を与えようとしたが、先祖伝来の地を去るのを拒んだ為に秀吉の怒りを買って大和の小領主に落とされてしまったので、関東のお鉢が家康に回って名をなさしめる結果になった。

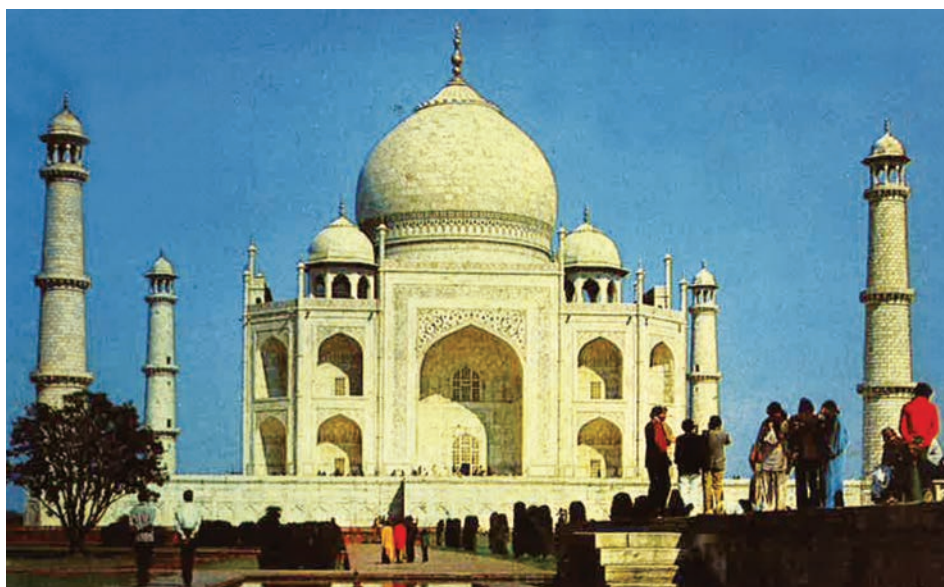
世界の国と街を訪ねて

No.15

大阪市中央区

馬場

正雄



初めて訪問した時の絵葉書より

イスラムの世界一美しい建物タージマハール (インド)

私は50ヶ国、1000回以上外国旅行をしているが、「どこが一番良かったか？」に答えるのは困るが、「世界一美しい建造物ならインドはアグラのムガル帝国の第四代皇帝シャージャハーンが愛妃の為に作ったお墓」タージマハールと文句なく答える。

30代に初めて見て感動し、再訪を誓っていたので胸が熱くなるのを覚えた。眼前に立つ白亜の建物を見続けると再び来れた感動で涙が出そうになった。

ピラミッドやパリのコンコルドにしても2回目の感動は小さいのにタージマハールは違った。そう言えばガイドブックに「インドで一番いや世界一美しいかも」とあった。毎年400万人の観光客のうち20万人は外国人。人気のスポットで、こんなに来られては地下で眠る妃もおちおち死んでおれないだろうと同じ情になってしまう。

皇帝はこよなくムムタズマハールを愛したが、妃が1631年に36歳で亡くなったのは16番目の子供の産褥の病だった。皇帝はデカン高原に遠征して妃の死に目に会え

なかった。1年後にタージマハールの建設に取りかかるが「世界一の霊廟」「最も美しい建造物」を意識していたかどうかの記録は残念ながら残されていない。しかし、巨額の費用がかかったのは確かです。さすがのムガル帝国も財政が傾いたので実子アウラングゼーブ(五代皇帝)が父を捕えて霊廟が見えるアグラ城の一室に幽閉してしまう。ジャ



長蛇の列だが外国人は警備人が横入りさせてくれる

ハーンは対岸に黒い自分の霊廟を造る予定だったとか。その夢は実現できなかったがムムタズの隣の少し大きな棺の中に遺体は収められている。シントメリーな左右対称の白亜の大理石の霊廟はその巨大さ故に美しさが増す。40mの尖塔がシンブルさを補うように四方に立つ。目で分から

ない程度で多少外側に傾けてあるのは、視界のバランス上、窮屈さを感じさせないためとか。緑の幾何模様の前庭から眺める大きな基壇にそびえる霊廟は白亜ゆえに気品ある。巨大なタマネギ状の丸いドームが一つバランスよく八角形の建物の上に載せられている。大きさ、形状、高さ幅の間隔、色具合、いずれを取っても完璧で現代の科学コンピュータを駆使してもこの美しさは創造できないと思われる。建物各所にコーランの教えが描かれていてムガル帝国がイスラムであったことを偲ばせられる。ドームや内部はイスラム寺院を彷彿とさせられる。

空港のX検査より厳しく手荷物をロッカーに預けるなどしてやっと切符売り場にたどり着く。実は1150円くらいの外国人向けの高い券を売る窓口だ。基壇を階段で登るのも、玄室に入るのもインド人の長蛇の列を尻目に横入りできる。30円くらいの券を握り締めていたら1、2時間の見学ではとても中に入れない。遠い異国の地から来てるのだから勘弁してもらった。

家庭で
できる
健康
味アミノ酸
オーミロカズミ

見た目は平凡で華もないのですが、具材の豊かさが味となって現われます。
ピリッとスパイシーで爽やかで、しかもコクがある……
激辛ばかりと思われがちなタイ料理の、リッチでやさしい味をお楽しみください。

2回 ヤムウンセン (タイ風春雨の和え物)

■材料(2~3人前)

- エビ中4尾
- 豚ミンチ80g
- 玉ネギ1/4個
- レモン1/4個
- トマト1/3個
- 春雨30g
- タカノツメ1本
- 大葉5枚
- コンソメ2個



ヤム

トムヤムクワン(エビのスープ)
ヤム・ヌア(牛肉のサラダ)など
ヤムには「酸っぱい」という意味
があるそうです。
メニュー選びの参考にしとね!



ライムの酸味だから
爽やかなのよ!

■作り方

- 鍋に200ccほどの水を沸かし、そこへ小さく刻んだタカノツメ、豚ミンチ、エビのみじん切りを加える。
- 火が通ったら軽くアクを取り、コンソメを加える。
- 春雨(もどさなくてもいい)を加える。
- 春雨が煮えたり、塩とポン酢で味付ける。
- 玉ネギスライス、トマトスライス、大葉の絲切りを加えたら、軽くかき混ぜて火を止め、最後にレモンをしぼる。



ヤムウンセンは具の種類が多いので下準備が面倒なのですが、火にかける時間を分けて仕上がるスピード料理です。絲切りやみじん切りなど、すぐに投入できるような準備しておいてください。

本国タイで食べると、ヤムウンセンには砂糖が入っています。(不評なのでうちでは入れてないのですがゆ)カレーにもスープにも、あの有名なトムヤムクワンにも、まず砂糖が入っています。
甘・辛・酸のバランスを楽しむのがタイ料理の醍醐味なのだそう。みなさんも好みを入れてみて下さい。もし手に入るならポン酢の代わりに魚醤、大葉の代わりに香菜を使ってみてください。より本場の味に近づきますよ。

魚醤

カタクチイワシを発酵させた、東南アジアを代表する醤油です。
タイではナムプラ、ベトナムではマックマムと呼ばれます。

特にタイのものが澄んでいるのは、一番しぼりしか使わないからだそうです。でも、時間が経つと発酵が進んで黒くなるので、新しいうちに食べ切ってください。
ちなみにタイのレストランや屋台では、生唐辛子をナムプラに漬けたナムフリックがテーブルに常備してあります。
これで自分の好みに味付けて食べるのだそうです。



秋田のしょうゆ、能登ののりなど、日本にもあるよね



グラニュー糖も常備(!)
+ 玉ネギ

ヤムウンセンは派手な味の割りに仕上りが地味なので、レタスやパプリカなどをあしらって彩りよく盛りつけてください。



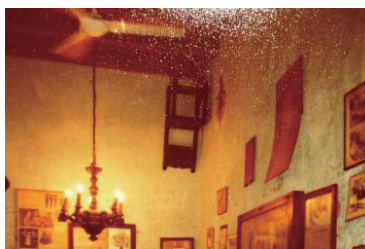
私が愛した街 13回

La Habana(ラ・アバーナ)の春

市川 隼 (鎌倉市在住)



ラ・アバーナの子供達(旧市街)とカフェ(1981年)



Cuba(キューバ)は社会主義の国だが、ロシアと比較すると、太陽が燦々と輝き、笑いの多い社会主義国だ。気候だけの違いだけではないようだが、ウオッカとラムの違いなのかも知れない。

伊人コロンブスがアメリカ大陸を発見したのが1492年。辿り着いた島々をアジアと信じ、西インド諸島と命名した話も有名だ。1511年に西国^{スペイン}によってキューバは植民地化され、エスパニョーラ島(現在のドミニカとハイチ)

と共に中南米侵攻の拠点となり、ラ・アバーナが主要な基地となった。キューバでは30万人居た先住民が、過酷な使役や大陸から持ち込まれた疫病で絶滅に瀕し、労働者として、アフリカから奴隷が送り込まれた。1841年には、白人41%、黒人49%、混血(ムラート)10%が人種構成と記録されているが、混血は進み、1981年には22%までに増加している。キューバの詩人ニコラス・ギジエンは、「二つの大陸をひそかに結ん

ている橋のように。さしあたってキューバの精神は混血なのだ。」と、精神や文化の混血も含め、キューバの特徴を謳い上げている。キューバの人口は約1127万人(2013年)で、首都ラ・アバーナは214万人であり、全人口の約20%弱を占めている。

1898年の米西戦争で西国が米国に敗れ、「公正なコセンサスの下での自由な社会」を主張した、革命の父と呼ばれ中国の孫文の役割を担った、ホセ・マルティ達の努力によって、1902年、西国から独立を勝ち取った。

長い冬が終り、春が遣つて来たが、東の間の春だった。新たな春を求めて、煙草産業や砂糖産業を支配する米国資本や、腐敗したバティスタ政権に反旗を翻したのは、弁護士フイデロ・カストロと医師チェ・ゲバラ達であり、革命が1959年の1月に成功した。1961年にはアメリカはキューバとの国交を断絶。砂糖の輸入禁止等、経済制裁を科した。その後、キューバでのミサイル基地建設を巡って、米ソが衝突したのが1962年の10月の出来事であり、

キューバはこの二カ国の大国同士の間で翻弄され、苦しい春の到来となった。

『誰が為に鐘は鳴る』等、詩情豊かな題名の小説を書いたのはノーベル賞作家ヘミングウェイだが、多くの作品の舞台はヨーロッパが舞台となった。『老人と海』は、キューバの海が舞台だ。老人が、カジキマグロと格闘しながら、やっとの思いで銚(もり)で仕留めるが、鯨に襲われ、港に辿り着いた時、カジキマグロは、骨だけになっていた。作家はキューバを愛し、人生の三分の一程の時間をキューバで過ごした。ラ・アバーナには、彼が愛したカフェがあり、天井から椅子が吊るされている。ダイキリやモヒート等のラム酒のカクテルが、大きな話声と共に、賑やかに飲まれ、経済封鎖による貧しさ等、何処吹く風の模様だが、昨年の12月、オバマ大統領とカストロ国家評議会議長(弟)が夫々声明を出し、国交正常化の交渉を開始すると発表した。新たな甘い春が、半世紀ぶりに、ラ・アバーナの街に遣つて来るのだろうか。

介護

東京都江東区 森川澄子

「98歳おめでとうございます。お祝いのケーキです」。母の耳元でゆっくり話しかけた。「ありがとうございます。こんなに長生きするのは思いませんでした」。母もゆっくりと、丁寧に戻してきた。

2月の介護担当は、母の誕生日の二日後だった。遅ればせながら上野駅ナカでショートケーキを2個買って持っていた。お茶の時間に「美味しいね」と味わいながら、母と娘がおしゃべりする。

「100歳まであと2年だから頑張れそうね」「もういいよ。早くあっちへ行きたいけど誰も迎えに来ない。みんな薄情だね」と軽口が出た。私も「迎えに来る交通費持たせなかったでしょ」とからかった。今日は言葉がはつきりして頭もさえている。こんなうれしい日ばかりではない。時々、めそめそする。「どうしたの?どこか痛い?」「……」「大きい声ではつ

きり言ってください」。涙声で「子どもたちに迷惑ばかりかけて……」。また始まった。新聞にこんなことが書いてあった。「高齢者のもう生きたくない」という言葉の真意は「否定してほしい」のだと。



シヨートステイの連絡帳を見ると、午前中は談笑、パズル、新聞、午後は

ベッドで休憩、の日々が多い。「パズル楽しい?」「何もしないでいると、ぼけるから」。自称勝ち気な性格が辛うじて維持されているようだ。しかし、足腰が弱り、立ったまま両手を使う動作ができなくなった。取分けトイレで、下の上げ下げが独りで難しい。

不可能が目を追うごとに増えていく情けなさ、泣きたくもなるだろう。老いていく姿を目の当たりにしながら、「私たちが手伝うから安心して」と胸の内やささやく。長寿は願ってもないが本人には——、とつい考え込んでしまう。

中田恭子さんへ
三枝のんこ

1週間に1度は巡ってくる母の取乱し。歩行器がないと歩けないのですが「家に帰る」と身支度を整え、玄関まで出ようとするのを連れ戻して諭す、また「帰る」と玄関へ、追っかけるの繰返しで、傍から見れば滑稽だと思えます。幻の家へ帰りたい母。このやりとりを昨日からほぼ丸1日を費やし、寝てくれたのは朝の4時過ぎでした。

母は幼いころに回帰しているようで、父母や夫の消息を何度も聞き、「もう死にはした」と告げても「うそー、昨日ここで見たよ」と納得せず、「死んだなんてそんな大事なこと、なんで早よ言うてくれへんの」と、終わることのないやりとりで陥って互いに疲労困憊するのです。

「何で死んだのを知ってるの」と不思議そうに聞く母。記憶が全くないと言い、ついには「どの人にもちゃんと過去があるの? 私にはそれが何でないんやろ」と。

過去から連なる思い出が人間存在を確かなものにしていくのでしよう。記憶の欠如は

本人が一番つらいはず。でも少しすれば忘れてくれるので、こちらも救われます。

人間が出来ていないものだから、時にわたしは感情に任せ、「お母さん、私は長女やから面倒見るのは当たり前やけど、こんなことが続くと私も具合が悪くなるし、精神的にも耐えきれない。お母さんもいやでしょ。老人ホームに入ってもらった方がいいかもしれない」と非情な言葉を投げつけてしまいます、情けない限りです。

朝になると何事もなかったかのように、デイサービスの迎えを今や遅しと待ちかまえて、母は出かけていきます。病気のなせる業は重々承知なのに、本気で怒ってしまう自分がやりきれなくなることが

編集後記

誌名を「クロススイング」から「ライフクロススイング」へ。検索しやすいので。編集も工夫し、今後は「雨降って地固まる」です。

P2,3は、アベノミクスの結果と辺野古での弾圧。「幽霊の正体みたり枯首相」、

最近、多くなっています。追伸・母の横に小さな「恭子ちゃんギャラリー」を作りました。母は大喜びし、「癒しと祈り、やさしさがあかね」。食事のたびに「心がおだやかになる」と感謝しています。心の平安をもたらす慈しみの絵、ありがとうございます。

恭子さんから

お手紙、毎日見直して、共感したり励まされたり。体験者には、私だけでないという体験談が、どんなに力になることか。この正直な手紙は、長生き時代の歪み(医学の進歩がもたらす、神の与えた命との差)が命を伸ばしたことで人が背負うようになった精神的な重荷を考え直すいい手紙だと思いました。

早く引きずり降ろさねば。P4でピケティのアベノミクスと対極の「格差拡大」論。P7、福島原発事故の現状。P10、「上海のタクシー」がおもしろい。P11、家康タスキ親父は、関西人が喜ぶ。P16、恭子さんの絵に注目。「90歳の私」には、ほんのり。あといろいろです。

恭子の日記

九十歳の私からあなたへ

宮崎 トシ

人間の生きる力って何だろう——とよく近頃考える。

十代の頃、私は親を亡くし祖母のうちにひきとられた。私、十三歳、弟九歳、双子の妹三歳。

二十代の頃は長崎に原爆が落ちたくさんの命が天に召された。働いて結婚もした。

三十代の頃は夢中で子育て。親を早くに亡くした私は親子でいることが、この上なく幸せだった。毎日子の寝顔

を見られることに感謝をした。

四十代、百三歳で祖母が旅立つ。親を亡くした時、私たち姉妹を一人ずつ引き取るという親戚に、「親と別れた上、兄弟までバラバラにしてはいけない」と四人を守り育ててくれた、世の中で一番大切な大事な人を失った。

五十代、初孫が出来た。言葉では言い表せない大きな大

きな喜びだった。

六十代、私たち兄弟の絆は強く、四大家族はことあるごとに行き来をし集まり旅行も増えた。

七十代、主人を亡くした。いつも寄り添い主人の父母のいるわが家に私の祖母も引き取って大切にしてくれたすばらしい人。心に大きな穴が開いた。



薬師三尊の祈り

太陽を抱えているのが日光菩薩、お月様を抱えているのが月光菩薩、私は男女の区別なしと言いますが、私はあえて男女と子の三位一体の形を描きました。人を上から見るのではなく、人のところまで降りてくる広い優しさを描きました。私の理想の形であり私の目標でもあります。展覧会では膝まづいて泣いている人や祈っている人もありました。祈りの心は伝わったかもしれません。

どこにでも写っているのがわたし、弟や妹たちと



八十代、ひ孫が生まれた。

父母を亡くした十三の頃、末の妹たちは三歳だった。ひ孫は今五歳と二歳になる。なんでありがたい。なんて幸せ。

九十歳、不思議なことに私は今約百三十年前、私の父母が発発をした島原の地に戻ってきた。私の夫が私の祖母を引き取ってくれたように、娘の夫もまた私を引き受けてくれたからだ。先日は弟の一家も会いに来てくれた。今日は八十になった妹たちもその子連れで会いに来てくれる。人生に苦勞や悲しいことがあっても、幸せは「思いやりと愛と感謝」で引き継がれていくことを実感している。

代筆：中田恭子（娘）